

こと (=「人生の道場」米山梅吉翁)

⇒ それは「例会」にある



「例会」の効用

(もっとも大切なロータリー行事)

i シニア会員には「キョウヨウ」と「キョウイク」が必要だという古諺

⇒ 「キョウヨウ」: 今日、用がある

「キョウイク」: 今日、行くところがある

ii 中堅会員にとっての例会

⇒ 仕事、家庭の充実のための人脈(エグゼクティブ・クラス)の活用

iii 若手会員・新会員にとっての例会

⇒ 未知の業界における多数・多様な人脈を一遍に手に入れられること、社交界へのスムーズなデビューが果たせる

そのためには「例会」の充実が何にも増して重要だ

i 「例会」=「人生の道場」

(自分の「人生の目的(意義)」を知るところ)

・充実した会長卓話

・会員相互の情報交換の場になるように

ii 「例会」=「人生最後の友人」を作るところ

(=「大人の学園」)

・心の慰安の場所(PDG 前原勝樹・2840 地区)

・ロータリアン同士(真実かつ安心な)の交流

・好意と友情を深める場所

=「楽しいところに人は集まる」の理屈

これだけは覚えておきたい「ロータリーの目的」

国際ロータリー定款 第4条(田中私訳)

第1 心の友を得て、自己研鑽の機会とすること

第2 職業は社会に奉仕する手段の一つであることを理解し、その倫理性を高めるとともに各自の職業を高潔なものにすること

第3 ロータリアン一人ひとりが、個人生活や、職業生活や、社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること

第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること

もう一つ覚えておきたい「ロータリーのモットー」

2つのモットー(標語)(アーサーF.シェルドン)

…「決議23-34」

① Service Above Self (超我の奉仕) …奉仕の哲学

② One Profits Most Who Serves Best (最もよく奉仕する者、最も多く報いられる) …実践理論の原則

田中私訳:

「相手に対する奉仕を自己の利益や都合より優先させよう。利益は奉仕の結果である。相手のために最善の奉仕をすれば、その結果として最大の利益(金銭的な利益ばかりではなく、満足感や幸福感)が得られる」

“奉仕”ができる人とは…

「奉仕(寄付)はお金のある人がすることではなくて、心のある人がすることなのです」

⇒ ロータリーに入会し、成長した「強い人」が次に行くべきことは、「弱い人」を助けることです

= これを本当の“成長”といいます

これこそが、真のロータリアンが持つべき

“noblesse oblige”の精神です

“寄付”の必要性

作家 池波正太郎氏「身銭を切って初めてその人間のスケールが大きくなって行く。知らず知らずのうちに、切った身銭はいつか何らかの形で必ず自分に返ってくるんですよ」

⇒ 松下幸之助氏(大阪 RC)は、寄付を「無形の契約」

と称しました。

寄付は自分のためです、寄付に卒業はありません

●地区目標(ロータリー財団寄付、ポリオ寄付、米山奨学寄付)を知っていますか?

【問題】「老太狸暗」という漢字が読めますか?

【解答】「ロータリアン」と読みます

「老」: クラブの将来にはまったく関心がなく、自分のことだけに執着している人

「太」: 自分が得をすることだけに腐心していて、まるで行動(寄付等)が伴わない口先だけの人、ジコチュー(自己中心)

「狸」: クラブ・地区等の活動には参加せず、ただ汗をかかないようにふるまう狡猾な人

「暗」: その人がいるだけで周囲が暗くなるような負のオーラを持った人

このような人が好んで集まるクラブには将来はありません、このような人をクラブの中核に据えてはいけません。会員は、自クラブを良い方向に導いていく水先案内人の一人です。責任を果たしましょう!

“チャットGPT”に聞きました

【質問】ロータリーはどうやったら会員が増えるのか?

【回答】ロータリーは、地域社会や世界中に通じるための非営利団体であり、世界中で多くのメンバーを抱えています。日本でもロータリーは広く知られていますが、会員数を増やすためには、以下のような戦略が考えられます。

1 地元コミュニティでの露出を増やす

ロータリーがどのような団体であるかを地元の人に知ってもらうことが大切です。地元の行事やイベントに参加し、ロータリーの活動やプロジェクトを紹介することで、人々の関心を引くことができます。

2 ネットワークを広げる

会員募集には、アダプターの会員が友人や家族、同僚などにロータリーについて語りかけることが有効です。また、ロータリーのオンラインプレゼンスを強化し、WEBサイトやソーシャルメディアなどを活用して、新しいメンバーを募集することもできます。

3 プロジェクトに参加する機会を提供する

ロータリーのプロジェクトや活動に積極的に参加することで、ロータリーに興味を持っている人々を誘引することができます。興味をもってくれた人々に対して、ロータリーへの参加を提案することができます。

4 若者に届ける

若い世代にロータリーの存在を知ってもらうことも重要です。ロータリーは、若い人々にとって、社会貢献やリーダーシップの経験を積む機会を提供することができます。若者たちに対して、ロータリーやプロジェクトに参加する機会を提供することで、新しいメンバーを獲得することができます。

■第2770地区バスタガバナー

井原 實様 ご挨拶

田中さんの著書には「ロータリーに入るとこんなことが待ってます」と書いてあります。ロータリーに入ったからには、行ってみないと経験してみないとわからないことが多くあります。

ぜひご自分で実感してみてください。

